

報道関係者 各位

平成 28 年 11 月 21 日

【照会先】

健康局結核感染症課

課長補佐 野田 博之（内線 2373）

エイズ対策推進室

室長補佐 田中 彰子（内線 2354）

（代表電話）03(5253)1111

（直通電話）03(3595)3426

厚生労働省が性感染症の予防啓発で「美少女戦士セーラームーン」との コラボレーションポスターなどを作成しました

～ キャッチフレーズは「検査しないと おしおきよ!!」 ～

厚生労働省は、「美少女戦士セーラームーン」とコラボレーションし、性感染症の予防や、早期発見・治療の必要性を啓発するためのポスターやリーフレットなどを作成しました。

近年、性感染症の中でも、「梅毒」の感染者の報告数が男女ともに増加しています。ここ 5 年では、平成 22（2010）年の 621 例から平成 27（2015）年の 2,697 例と約 4 倍に増えてい

ます。性感染症の予防には、性感染症を自らの重要な健康問題と捉えて、正しい知識とコンドームの使用などの予防手段を知ることが重要です。また、性感染症にかかってしまった場合には、早期発見と治療が大切です。そこで、厚生労働省では、幅広い層に認知されている「美少女戦士セーラームーン」とコラボレーションした性感染症の予防啓発を企画しました。

今回のコラボレーションにあたっては、「美少女戦士セーラームーン」の原作者である武内直子先生にご賛同いただきました。また、性感染症の早期発見・治療につなげるメッセージとして、「検査しないと おしおきよ!!」というキャッチフレーズを使用することになりました。

「美少女戦士セーラームーン」のイラストを使用した啓発ツールは、ポスターとリーフレット、コンドームのハート型外パッケージの 3 種類です。ポスターとリーフレットは、全国の自治体・団体などに配布し、それぞれの自治体などでの啓発活動に活用していただきます。コンドームについては、公益財団法人 性の健康医学財団が作成し、自治体などに配布するほか、啓発イベントなどの機会を通じて配布していく予定です。



【ポスター】

「美少女戦士セーラームーン」コラボレーション 性感染症の予防啓発ツール

今回作成したリーフレット、ポスター、コンドームは、それぞれ全国 142 の自治体と日本医師会、日本性感染症学会、エイズ予防財団、性の健康医学財団などへ配布します。

リーフレット

A4 サイズ 156,000 部作成

表面は、ポスターと共通の図柄です。裏面には、性感染症（STI）の感染者報告数の推移や、代表的な性感染症の特徴や症状を掲載しています。

**STI(性感染症)・HIVは
早期発見・治療が大切です。**

保健所や医療機関などで検査を受けることができます。各機関にお問い合わせください。
まずは検査・相談できる機関を検索してみよう。▶▶▶▶

コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。

STI・HIVはセックス、オーラルセックス、アナルセックスなどで感染します。一度出ても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療を受けましょう。

HIV検査相談マップ
全国HIV/エイズ・性感染症
検査・相談窓口情報サイト
<http://www.hivkensa.com/>

厚生労働省

©Naoko Takeuchi

【リーフレット表面】

主な性感染症とその症状

梅毒	<p>痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮膚・リンパ節の腫脹、さらには数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。</p> <p>梅毒報告数の推移*</p> <p>年齢別に見た梅毒報告数(2010年)*</p> <p>2010年以降、梅毒の報告数は増加を続けており、女性は20歳代、男性は20歳代～40歳代の報告が多くなっています。</p> <p><small>*2010～2014年梅毒報告数(性感染症発生動向調査結果)による。2015年、2016年2017年10月までの報告数(暫定)。2018年2019年報告数は10月31日までの報告数です。</small></p>
淋菌感染症・ 性器クラミジア感染症	<p>男性では排尿痛、尿道不快感、尿道からの分泌物、女性ではおりもの変化や下腹部の痛みといった症状をきたすことがありますが、感染しても無症状の場合も多いです。男性、女性の双方で不妊の原因になることがあります。淋菌と性器クラミジアは同時に感染していることが多いです。</p>
性器ヘルペス ウイルス感染症	<p>男性器、女性器に痛みを伴う水泡ができ、潰瘍になるものもあります。一度かかると治療しても繰り返し再発することがあります。女性の場合、妊婦・出産時の感染が胎児に重篤な合併症を引き起こすことがあります。</p>
ヒトパピローマ ウイルス感染症	<p>性経路のある女性の半数以上が一度は感染するとされています。症状はほとんどありません。種々のタイプがあり、一部のウイルスは、性器にいぼができる尖圭コンジローマの原因となり、子宮頸がんや陰がんなどの原因になります。</p>
HIV・エイズ	<p>HIVに感染すると、初期症状にかぜのような症状が見られることがあります。その後、自覚症状のないまま徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気(日和見感染症)などを発症します。早期に治療を開始し、適切な治療を続けられれば、感染前とほとんど同じ生活を送ることが可能です。HIV感染は検査でしかわかりません。</p>

コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。

STI・HIVはセックス、オーラルセックス、アナルセックスなどで感染します。一度出ても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療を受けましょう。

厚生労働省

【リーフレット裏面】

ポスター



A2サイズ 約 5,000 部作成

©Naoko Takeuchi

コンドームの外パッケージ



コンドームのハート型外パッケージは公益財団法人 性の健康医学財団が作成します。
約 60,000 個作成



【公益財団法人 性の健康医学財団】

公益財団法人 性の健康医学財団（理事長 北村唯一）は、調査研究・相談・各種講座の実施を通して性感染症予防について広く国民に普及啓発を推進しています。2021年には財団創立100周年を迎えます。

取材や、啓発ツールの実物送付をご希望の方は下記までご連絡ください。

厚生労働省 健康局 結核感染症課 成瀬、前野

電話番号 03 (5253) 1111 内線 2094